

福祉の輪を広げたい

第25号 2016年1月発行



厚木第二小学校の体育館をお借りして運動会を開催しました。

広く明るい体育館で、園児達は日頃の練習の成果を一杯発揮していました。

(本厚木ふたば保育園)



成瀬小学校の教室と体育館、プールをお借りし、夏休みに入った養護学校や特別支援学級の生徒さんに行うレスパイトは、夏の恒例の事業になっています。(みどり園)

特集 行政との連携 更に強く

行政の効率化が叫ばれる中、自治体財政は厳しく、職員が削減される中において社会の要請は、ますます広範に多様なものになっており、専門性は格段に高まっています。

緑友会では神奈川県や伊勢原市、厚木市や清川村等、行政の皆さんと積極的に情報や意見の交換を行い、行政への応援を心掛けています。そして各施設は広域避難場所や子育て支援拠点になったり、行政の会議やイベント等にも協力しています。

官民、それぞれの立ち位置を理解し、力を合わせ地域の皆様の役に立つということを常に念頭に置いています。

(理事長:岩崎尊之)



伊勢原市の皆さまと共に、駅前周辺で行うキャンペーンでは多くの応援の声に触れることができました。(つくし)

第25号の内容

特集 行政との連携 更に強く 1

NEWS 1~12 2・3

ピックアップ 4・5

もろさんが行く 6・7

NEWS 13 8



清川村発注のゲートボール場の除草作業は利用者さんの工賃となり励みになっています。同広場には保護者会寄贈のベンチもあり、村民憩いの場になっています。(清川ホーム)

NEWS 1 後藤祐一代議士が見学に！



本厚木・伊勢原ふたば両保育園へ

保育士不足や食物アレルギー対応、業務量と賃金のバランス等、多くの課題について後藤代議士が両ふたば保育園を2回に分けて、意見聴取や保育の見学等に訪れて下さいました。熱心な研究をもとに改善が図られることを期待しています。

NEWS 2 園の外でも活躍しています！



伊勢原ふたば保育園

青沼亜沙美先生は伊勢原市内11保育園の共同研究会で食育実践の研究を進め、依田友美先生は保育園・小・中・高校と連携し情報交換など。森下麻衣先生は保育内容研究会の2年間の成果を静岡県で発表。園外でも大活躍しています！

NEWS 3 スポーツでも活躍！



つくし

高瀬雅典支援員は出身校の玉川大学で卓球部のコーチに今年度から就任。望月宏晃支援員は友人とチームを結成、中心選手として伊勢原市野球協会の今年の秋季大会で準優勝！ 頼もしい！

NEWS 4 利用者さんとの対話！



みどり園

みどり園の長塚幾子名誉施設長（前伊勢原市長）が、レスパイト事業利用者さんと園の感想や趣味の話等の意見交換をされました。利用者さんにとって楽しい思い出になったそうです。

NEWS 5 縄文式土器が発掘されたそうです！

NEWS 6 リクルートページ、オープン！



清川ホーム

清川村議会の山本雅彦副議長は清川ホーム建設前の埋蔵文化財調査に立ち会われたそうで土器等が大量に出土したそうです。太古の昔から清川村は生活に適した場所だったのですね。



法人全体

保育園や高齢者介護事業所等の急増により全国的に職員不足が深刻です。緑友会では既存HPに新たな職員採用ページを新設しました。先輩の声は素晴らしい出来栄です。是非ご覧下さい。

NEWS 7

専門調理師資格を取得！



小澤友幸調理員

職員の資質向上、園児や利用者さんへのサービス向上等を目指して資格手当を設け、調理部門では厚生労働大臣認定『専門調理師』資格取得を推奨しています。この度、小澤調理員が見事、試験に合格されました！ おめでとうございます。

NEWS 8

4人体制に体制強化！



つくし相談室

障害福祉サービスを受ける場合は、サービス等利用計画の作成が義務づけられています。つくし相談室では増え続ける利用希望者や行政に應えるために昨年、伊勢原スタジオ・プランチに移転し、今年度、職員を4人体制に拡充しました。

NEWS 9

行政等の役員に就任！



菅原敦施設長



松野ひとみ園長

菅原施設長は清川村自立支援協議会の会長、松野園長は伊勢原市社会福祉協議会の評議員に就任しました。地域の役に立てるよう頑張ると思いますので職員の皆さんも応援して下さい。

NEWS 10

平成27年度の表彰受賞者

全国社会福祉協議会：会長表彰

石田英弘：アトリエヴェルデ施設長

知的障害者福祉事業功労者表彰

菅原 敦：清川ホーム施設長

秋本 秀美：みどり園副施設長

齋藤 和子：清川ホーム支援員

神奈川県社会福祉協議会：会長表彰

齋藤 和子：清川ホーム支援員

井上 明美：総務部主任

新實 正樹：つくし施設長

渡辺 恵：みどり園主任

米満 修一：みどり園主査

NEWS 11

スロープ付車両を整備！



清川ホーム

中央競馬の馬主会様より、補助金をいただきスロープ付の軽乗用車を整備しました。従来では入れなかった路地や利用者さん宅の玄関前まで送迎できるようになり大好評です。厚く御礼申し上げます。

NEWS 12

伊勢原市役所の新案内板！



法人全体

伊勢原市役所の1階ロビーに市内の主な施設を示す地図や市役所庁内の案内看板が設置されました。緑友会の本部や各施設も紹介されています。機会があれば、ご覧下さい。

ピックアップ1

高齢化にむけて（清川ホーム）

昨年、厚生労働省から発表された日本人の平均寿命は、男性が80.5歳、女性が86.8歳です。男性は過去最高を更新し世界3位、女性は3年連続で世界1位という長寿国となっています。

清川ホームの現在の最年長は77歳の男性で前述の平均寿命より若い状況で、病気を予防し、元気に生活をされている状況ですが、他に70代の利用者様が5名いらっしゃいますし、5年後や10年後を考えた時明らかに入所者様の高齢化問題の深刻さが懸念されるどころです。

清川ホームでは、ウォーキングやラジオ体操等、シンプルな誰もが参加しやすいメニューで体力の維持を図っています。しかし今後は、より効果的なプログラムを考え、導入していく必要があります。その一環として現在、訪問リハビリマッサージを取り入れました。軽いマヒのある方や関節が硬くなっている方の運動機能改善に効果があるということで3名が週2回のマッサージを受けています。

同マッサージには個人の費用負担が求められますが重度医療証を持っている人は自己負担がないという公費助成もありますので、利用者様おひとりおひとりの状況を真剣に検討し、健康寿命をできるだけ延ばし、長寿を利用者様と保護者様、職員も含め、皆でお祝いできるよう、日常の情報収集や研修、日々の取り組みを更に進めていく所存です。

（清川ホーム 副施設長 佐藤 順一郎）



皆さんでウォーキング



訪問リハビリマッサージ

ピックアップ2

子どもの体力向上を目指して（伊勢原ふたば保育園）

転んだ時に手をつくことが出来ず顔に怪我をしてみたり、ボールを避けられず眼球損傷に至るなど、子どもの体力や運動能力の低下による様々な問題が報告され、運動不足や栄養過多から肥満になり生活習慣病の可能性の子どももいるそうです。

国の運動能力調査では、走る・跳ぶ・投げる等の基礎的運動能力や柔軟性や敏捷性など体をコントロールする能力が近年、著しく低下し、その傾向が乳幼児にも及んでいるとされています。

伊勢原ふたば保育園では、子どもの体力や運動能力の向上を図るためいくつかの取り組みを行っており、その一つが毎年1月に実施される新春マラソン大会です。保育園周辺の農道を利用して園児が長距離走に取り組むのですが、大会に向けてクラスごとに毎朝、グラウンドの周回コースを走り持久力を徐々につけ、体力や運動機能を向上させていきます。

もう一つは、無意識の日常生活の中で自然に体力等を向上させる取り組みです。田んぼに面した平坦な敷地の保育園ですので、園庭に築山と体をこごめて通るトンネルを設け、上り下りやトンネル潜りで、体力等の向上を図っています。乳児も四つん這いで挑戦しています。

健康な生活を生涯、送っていただくために、その他にも散歩やハイキング、幼児クラスでは毎週体操教室等、常に丁寧な取り組みで子ども達の体力や運動能力の向上を図っています。

（伊勢原ふたば保育園 主任 田村憲一郎）



新春マラソン大会



築山の上下り

ピックアップ3

社会生活技能訓練にチャレンジ（つくし）

つくしでは作業やレクリエーション活動の他に、今年度より社会生活技能訓練（ソーシャル・スキル・トレーニング：SST）をはじめました。社会生活をしていく上で必要な能力などを、グループワークを通して身につけていく訓練で、医療機関や社会復帰施設、学校、職場などで実践されていて、近年その効果が認められています。つくし利用者の多くの方は、作業能力は高くても対人関係、とりわけ人とのコミュニケーションを苦手とされています。そのためSSTを通して新たなコミュニケーション技術の獲得と、誤ったコミュニケーションの修正を目的として実施しています。職員2名と利用者さん4名でグループをつくり、まずは自身の今日の体調を「お天気」にたとえて伝えることから始まります。ウォーミングアップでは、絵を描いてしりとりをしたり、雑学クイズで緊張をほぐしながら日常会話が豊かになるようところがけます。実際の活動は褒めあうこと、会話を継続すること、自分の病気を知ることなどのテーマでトレーニングを展開しています。また、活動をリードする職員には、コーディネート（調整）能力や参加者のメッセージをしっかり受けとめ、適切に処理する能力が問われます。利用者の方と一緒に職員も向上していくことが求められるのです。

今後は、就労に向けた具体的な場面も想定し、利用者の方の意向を確認しながら、「つくし」なりのSSTと一緒に作っていきたいと思います。
（つくし 支援員 望月 宏晃）



ピックアップ4

新しい「医務室」

一昨年に完成したみどり園の医務室を少し紹介させていただきます。スペースを以前の3倍の広さにして頂きました。入口ドアの床面にはレールがなく、車椅子の方も人の手を借りず開閉可能で、楽に通れる広いドアになりました。歯科の訪問診療開始をかわきりに、26年4月には精神科の訪問診療、つづいて27年5月から内科の往診を導入しました。訪問・往診診療を行って頂くことで、職員や利用者様にもゆとりが生まれました。特に印象深いのは歯科の治療場面です。数回の治療を重ねていると、それまで緊張して治療を受けることが困難であった利用者様がいつの間にか静かに治療を受けることができるようになったのには驚きました。見慣れた環境のもとで治療していただける安心感ができてきたのだと思います。訪問医療の関係者と親しく会話する利用者様を見るたびに「これで良かった」と実感しています。

以前は精神科受診50人を4つの医療機関へ毎月1回、3～6人に分散して通院していました。更に歯科や他の受診が加わるので、生活支援にかかわる職員の手がかなり分散されることが多かったと思います。また、病院では待ち時間がどうしても長くなり、利用者様が不安な気持ちになることも多々ありました。

ご協力いただいている医療機関の皆様への感謝を忘れず、新しい医務室を活用して利用者みなさまの健康維持に努めてまいります。
（みどり園 看護師 橋本 キイ子）



みどり園の新医務室

ピックアップ選者

選者経歴：元伊勢原養護学校校長
元県教育相談専門員

現在、県内の専門学校で障害福祉の教鞭をとると共に、当法人の参与として広報や職員研修等を担当しています。



緑友会参与
三田 良典

もろさんが行く1

☐ 電子書籍とそのリーダー ☐

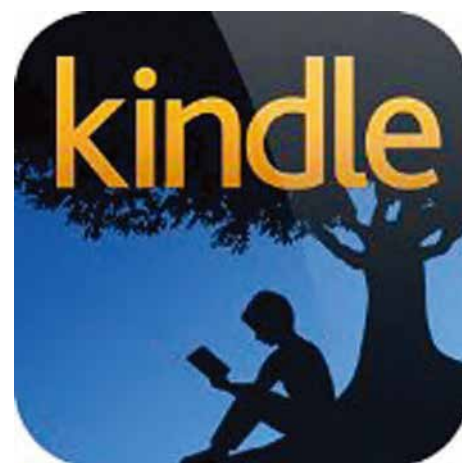
アマゾンの「Kindle」という名前で、電子書籍とその書籍リーダーが日本でも入手できるようになったのが2013年の秋でした。書籍リーダーは17×12センチ 僅か190gという小型軽量、一回の充電で一ヶ月は使え、書籍が場所を選ばずに読めるということで一挙にシェアが広がりました。

紙に印刷した本を購入して本棚に所蔵して楽しむことから、電子化したデータをこのリーダーに数千冊分入れて、好きな時に好きな所で読めるということで、読書好きにとっては素晴らしい製品群の出現でした。

ベストセラーも紙の書籍に比べ3～4割は安く販売されていますし、古い名作は無料です。リーダーは文字サイズが自由に調節でき老眼鏡を必要とする人には快適で、また子ども達にとっては辞書と検索機能で言葉の意味や詳細が簡単に調べられる、と色々良いことづくめでした。

実は、もろさんはその時期での購入はもう少し様子を見る事にしていました。案の定、今年はずっと良い環境になりました。専用リーダーばかりではなく、全てのパソコン (Win,Mac) 、スマートフォンやパッド類 (iPad,Android) に無料ソフトをインストールすることで「Kindle」書籍が閲覧できるようになったのです。

今年、もろさんは待っていたとばかりに使い始めました。外出先ではiPhoneで本を読み、自宅では大きい画面で読む「二刀使い」です。素晴らしいことには、読むリーダーが変わっても最後のページが常に表示されることや、全ての本が数ページ無償の試し読みが出来るのです。一頃流行った又吉先生の「火花」も試し読みをしてから、購入しました。大型のフルカラーの例えば「世界遺産に行こう」などは書籍を見るよりきれいで快適に読むことができます。



画像出典：Amazonより

もろさんが行く2

☐ 深川ぶらり散策 ☐

ある朝、新聞を取り込みさらっと開くと、「深川ぶらり散策」の全ページが目にとまりました。もろさんの生まれた所は深川で、両親と弟は両国の横網公園にある東京都慰霊堂に眠っており、毎年3月の命日には必ずお参りに行っているのが東京の下町にはすごく愛着があります。

よし今日は深川散策と決め、東京メトロ線を木場で下車し子どもの頃の記憶を頼りに歩いてみました。この辺りは木場と言われ江戸時代から材木の貯木場と水路が沢山あった所で、上級生の子どもの達が川で泳いでいた記憶が残っていましたが、今は埋め立てられ公園となっていて、公園の脇に古ぼけた須崎神社だけが残っていました。戦後70年も経った今、永代通りに面した両サイドは開発が進みビルが林立して様変わりしていたのです。

気晴らしに立ち寄ったコーヒー店に山本一力氏の文庫本「あかね空」が置いてありました。「そうだ山本一力氏は深川を舞台にした作品が沢山ある」そこで活躍したのがiPhoneに入れてあるアプリのKindleです。早速「あかね空」をインストールし帰りの電車で読み始めました。深川を舞台の小説で主人公の家族が営む豆腐屋「京や」は深川の門前仲町辺りと読み進む頃には本厚木に到着しました。その他、山本氏（左写真）の作品は深川を舞台に沢山出版されています。もろさんも全部読んでおられません。伊勢原市立図書館には文庫本がありますのでご興味のある方はご覧ください。

(大川わたり、深川駕籠、深川黄表紙掛取り帖、銭売り賽蔵、人情屋横丁など)



東京都慰霊堂（戦前の被服廠後）

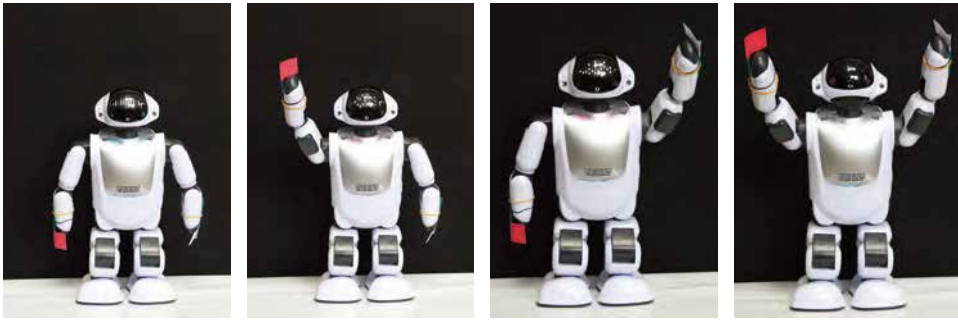


もろさんがロボットおじさんになった日

もろさんが組み立てたロボット、パルミ君とロビ君を連れて伊勢原ふたば保育園を訪問しました。園児の皆さんが固唾をのんで見守る中、パルミ君が『横浜のみなとみらいからやって来ました。僕、色々なことができますよ。』と自己紹介すると、大きな拍手が沸きました。

園児の皆さんと『AKBフォーチュンクッキー』『旗上げゲーム』等を楽しんだり、ロビ君の得意な『お座りの姿勢からの立ち上がり』等、可愛い仕種に笑いと歓声の30分でした。

パルミ君が撮影（右下）してくれた記念写真を撮ったり、喜んでくれた皆さんより『ロボットのおじさん、また来てね』といただいた労いの言葉が印象に残りました。



パルミ君の旗揚げゲームです、赤上げて、白上げて、最後は両手挙げてる人〇です。



パルミ君が撮影してくれた記念写真です。



ロビ君「立ち上がって」の掛け声で



腰を上げて



足を曲げて
ヨッコラショと一挙に
立ち上がりました。



みんな拍手喝さい

伊勢原蕎麦打ち倶楽部の皆様に感謝

今年も『つくし』に伊勢原蕎麦打ち倶楽部の5名の方々が、恒例のボランティアでお越しいただき、利用者の皆さんに本格的なそば打ちを指南し、さらに美味しい新そばを振る舞って下さいました。水まわし、こね、のばし、たたみ、そばきり、ゆで、手打ちそばは本当に大変な作業だと感じました。倶楽部の皆様には、道灌まつりでもつくしと協賛で手打ちそばの実演を行っていただいております、土産用のそばは、多くの観光客に美味しいと評判で『今年も買えることを楽しみにしていました。』と購入された方もおられるそうです。法人理事として心より感謝申し上げます。

もろさんが行く4



もろさん

もろさんの経歴：会社役員を経て、現在はお店を運営
岩崎理事長とは長いつきあい。緑友会の評議員を経て、現在広報担当の理事になりました。法人の話題のほか、市内や県内、気になるところに行ってお話をうかがいます。



緑友会理事
諸橋 晃

NEWS 13

職員交流会を実施!

2年目の職員交流検討委員会が今年度の事業として企画した職員交流会は、80名(職員73名、家族7名)参加で盛り上がりました。

この後、委員会では参加者へのアンケートを行い、評価する点や反省点などをとりまとめ来年度の新委員会に引き継ぐ予定です。

11月6日(金) 19時~21時
レンブラントホテル厚木にて



交流検討委員会で議論を重ね今回はホテルでの懇親会と決まりました。参加者をグループ分けして積極的に話してもらったり、クイズに挑戦していただいたり、親睦の輪を拡げていただきました。大きな盛り上がりは2次会へと進み、良かったという多くの声を頂戴することが出来、大変うれしく思っています。是非、今回の交流会をきっかけに親睦を深めていただき、今後も事業所は違えど緑友会を盛り上げていただけたらと願います。

最後に企画運営から当日の交流会まで裏方に徹して盛り上げてくれた交流検討委員会の皆さんに感謝します。チームワークの素晴らしさを実感しました。



交流検討委員長 新實正樹

当法人では、本紙『緑友会通信』に加え、ホームページでも情報発信をしています。本部や総務、施設毎のホームページは担当者の各自の思い入れがあり

編集後記

ますので、特段の統一感はなく福祉の輪を拡げるとい認識のみ共通に持ち、積極的な情報発信を行っています。新年を迎え、心機一転、福祉の輪を拡げてまいります。

「福祉の輪拡げたい」第25号

発行: 2016年1月
発行責任者: 岩崎尊之 (理事長)
編集責任者: 諸橋 晃 (広報担当理事)
事務局: 社会福祉法人緑友会 総務部
伊勢原市伊勢原3-6-7
Tel 0463-73-7221
印刷: カサハラ印刷株式会社
伊勢原市白根475-1

社会福祉法人緑友会 各施設のご案内

社会福祉法人緑友会 本部・総務部

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-7221

障害者支援施設 **みどり園**

伊勢原市粟窪605-1 Tel: 0463-93-4722

障害者支援施設 **清川ホーム**

愛甲郡清川村煤ヶ谷3293 Tel: 046-288-2911

認可保育所 **伊勢原ふたば保育園**

伊勢原市高森1391-3 Tel: 0463-92-6226

認可保育所 **本厚木ふたば保育園**

厚木市田村町7-3-2F Tel: 046-295-2525

知的障害者グループホーム **げんき家**

伊勢原市桜台2-16-25-201 Tel: 0463-91-7865

就労継続支援B型事業所 **つくし**

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-92-7900

相談支援事業 **つくし相談室**

伊勢原市伊勢原3-5-7 Tel: 0463-73-6027

就労継続支援B型事業所 **アトリエヴェルデ**

伊勢原市田中70-5 Tel: 0463-79-8181